



A まるよ (南丸よ小泉商店)

昭和初期につくられたもので、江戸日本橋から京都五条橋まで五十三次が全面に施してあります。(直径45cm×高さ35cm)



L にぎまつ 常滑焼と草もちのお店

明治男のおじちゃん愛用の灰皿。もちろん常滑焼です。



K まるたつ 磯村商店

澤田重治 作
ヨリコ造りによる大皿(φ100cm×20cm)



J 江崎商店

全面、山水彫りの朱泥火鉢。
祖父の代から大切に扱われている逸品です。



B やまちょう豊和製陶株式会社

戦前につくられた常滑焼の大甕。戦時中には爆薬の貯蔵に使われました。底の部分は地に埋めやすくなるため、ゆるやかに尖っています。



C 急須&器 いそべ

急須生産最盛期に多くつくられていた急須のケース型(石膏製)。型には多種多様なデザインがあり、これを元に量産のための型をつくりました。精巧なつくりに驚きますね。



D 咲茶楽(ささら)

長年の経験と研鑽から生まれた急須職人の道具は、美しい機能を果たす。



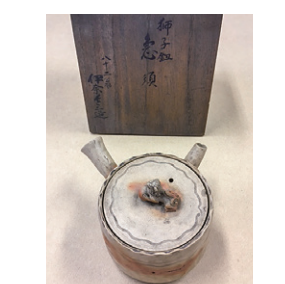
E かねよ渡辺陶器店

玉堂(梅原四郎兵)作 茶壺



F 花器専科 やまもと

昭和22年6月頃つくられた壺。
食物の貯蔵用として使われていました。



G まるみ陶芸店

4代目 伊奈長三 作
しつumi急須(非売品)



I 方円館

国指定重要無形文化財保持者
人間国宝 三代 山田常山 朱泥急須



H 焼き物の里 藤助(とうすけ)
(南亀岡製陶所)

昭和初期に先代がつくった貯蔵用の大壺。
当時、常滑ではたくさんつくられていました。

ウチの遺産

セラモール各店の

常滑焼 日本遺産 認定記念

祝

期間中、各店舗で展示します

とこなめセラモール 夏まつり

両日 9:00~17:00

8/26・27

sat

sun